



STANDARD
TOKYO

2022年8月8日

各 位

会 社 名 シンデン・ハイテックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 鈴木 淳
(コード番号：3131)
問合せ先 取締役(管理本部管掌) 田村 祥
(フリーコール：0800-5000-345)

為替差損（営業外費用）の計上に関するお知らせ

当社は、2023年3月期第1四半期連結会計期間(2022年4月1日から2022年6月30日まで)において、為替差損（営業外費用）を、下記のとおり計上しましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外費用の計上について

2023年3月期第1四半期連結会計期間において、為替相場の急激な変動により営業外費用として為替差損を503百万円計上しました。

これは、主として外貨建資産及び同負債を評価替したことによるものであり、為替相場が急激に円安に推移したことで発生した「評価上の損失」であります。

当該損失発生の背景としましては、半導体をはじめとする各種商材の納期長期化への対応として在庫確保を行い供給の安定化を図る必要性によって、外貨建て資産に対する外貨建て負債の超過額が大きくなったことによります。

2. 業績に与える影響

足元のビジネスの状況（販売面）は、スロースタートとの当初の想定に対し、売上高及び営業利益においては、想定をやや上回る推移となっております。しかし、昨今の急激な円安の進行による当該為替差損（営業外費用）が、営業利益までの円安によるプラス効果を打ち消してしまい、経常利益以下の利益は想定を下回るものとなりました。

今後の見通しは、販売面においては、現段階で総じて当初想定との大きな乖離はないものと見込んでおります。また、第2四半期以降、この円安の進行が販売面においてプラス効果となって加わり、当該損失分を第2四半期以降の売上総利益においてリカバリーするため、通期経常利益予想値への大きな影響はないものと見込んでおります。

現段階において今後の為替相場の他、業績に影響を与える未確定な要素が多いため、2022年5月12日に公表しました「2023年3月期の通期連結業績予想」に変更はありません。

なお、為替相場の動向を含めたビジネスの状況等を、総合的な観点で引続き精査し、業績予想の修正を要することが判明した場合は、速やかに公表いたします。

以 上